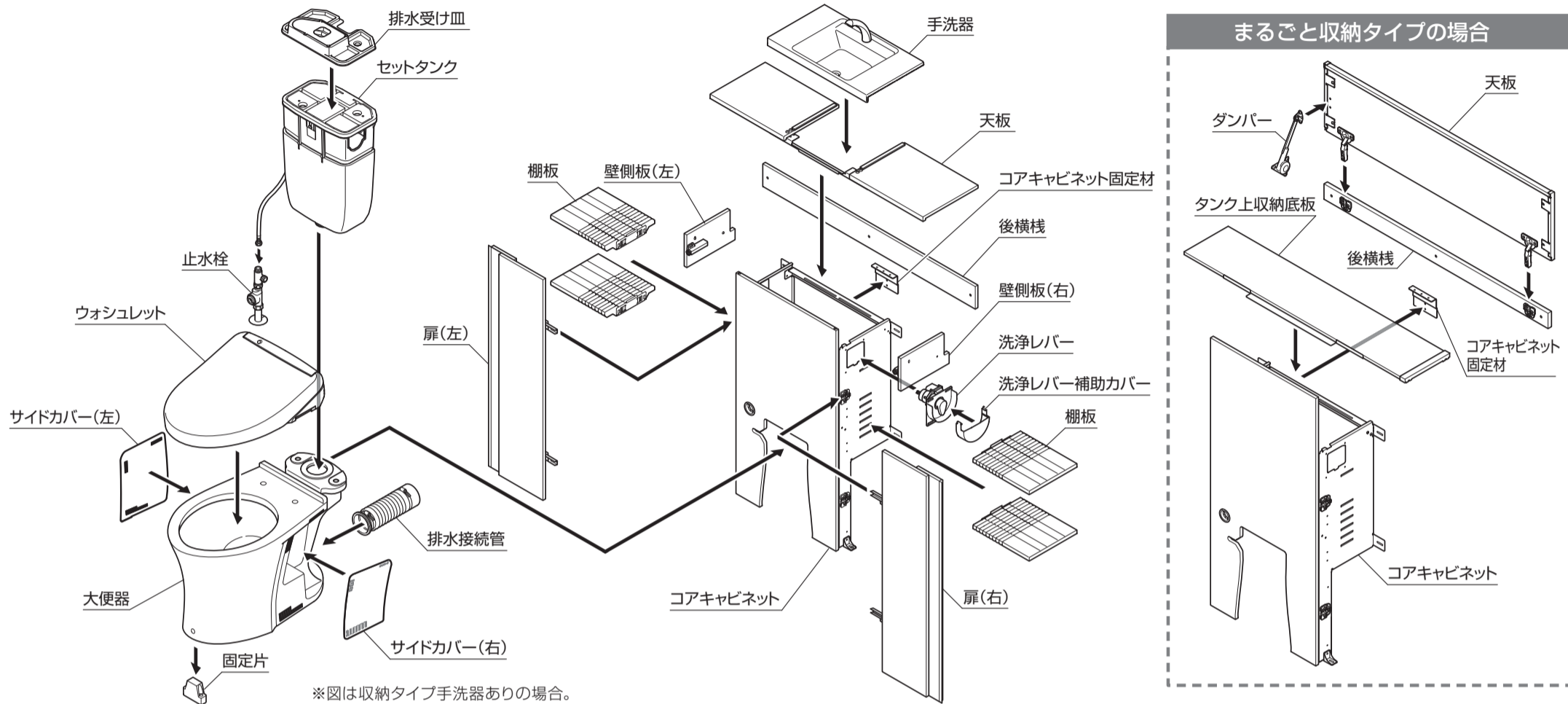


TOTO

レストパル I型 壁排水

UWCCE / UWCDD / UWCDE

このダイジェスト版は、おおよその施工の流れをご理解いただくためのものです。
 施工にあたっては、施工説明書本編とあわせてご確認ください。
 施工説明書本編にある安全上のご注意、施工上のご注意を必ずお守りください。



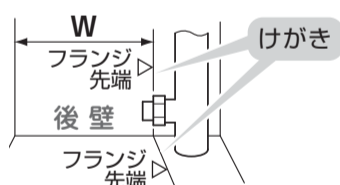
※図は収納タイプ手洗器ありの場合。

ステップ1 **1 立管対応タイプの準備** **2 固定金具** **3 止水栓** **本編 P.22 ▶ P.26** ステップ2 ステップ3 ステップ4 ステップ5 ステップ6 ステップ7

1 立管対応タイプの準備

立管対応タイプの場合のみ

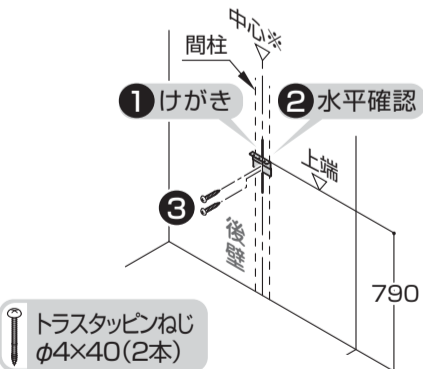
【露出タイプの場合】



2 固定金具

3 止水栓

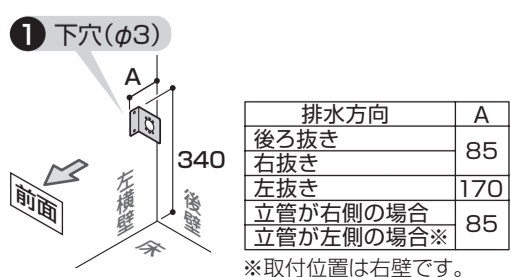
1 固定金具



※立管がある場合：便器中心

情報編の給排水位置の図を参考に便器中心で位置を取り付けてください。

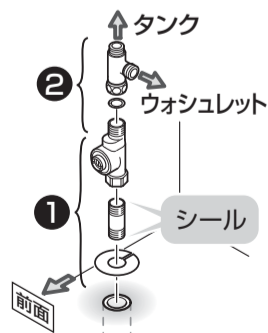
既存給水流用の場合



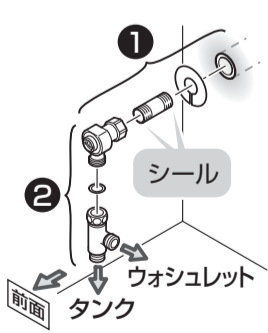
1 止水栓・分岐金具

給水新設

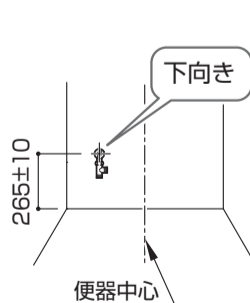
床給水



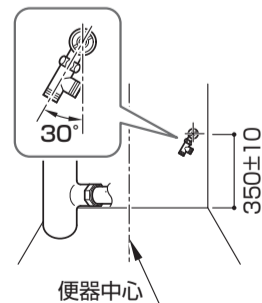
壁給水



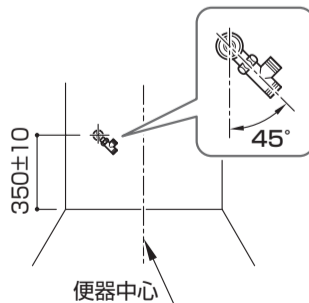
【壁排水 後ろ抜きの場合】



【左立管対応の場合】

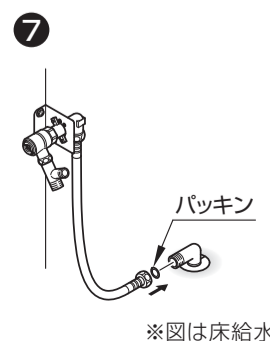
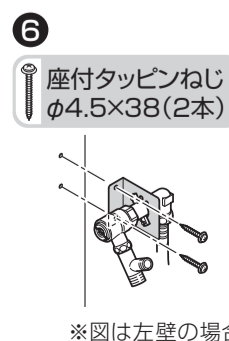
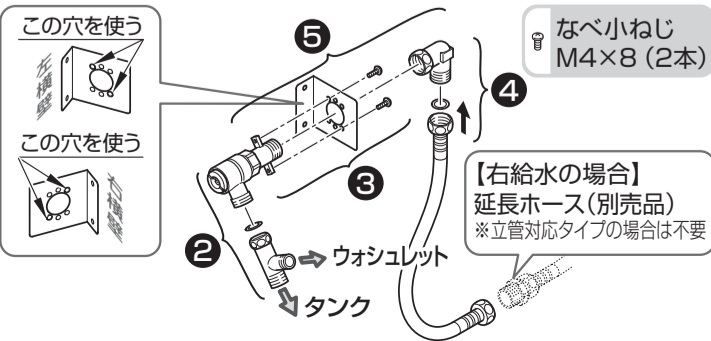
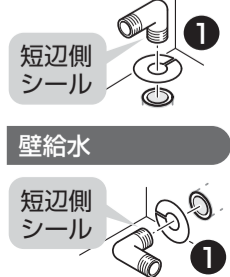


【左右抜き / 右立管対応の場合】



既存給水流用

床給水



1 大便器の仮固定

なべタッピンねじ
φ6×50(2本)

4 便器をいったん外す

座金(2個)

固定片

383

46

5 下穴φ4.5

256

2 けがき

1 便器を仮置き

後壁

3 けがき

便器中心線

【立管がない場合】
A=間口中心
便器中心線

【立管対応(隠ぺい)】
A=230
便器中心線

【立管対応(露出)】
A=230
便器中心線

2 排水接続管

後ろ抜きの場合

ホースバンド

1

左右抜きの場合

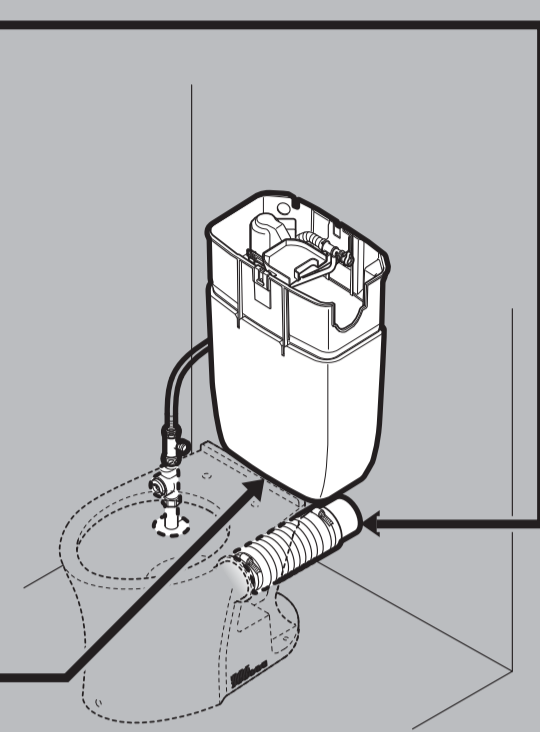
ホースバンド

1

2 設備側に接続

4 大便器の仮固定・排水部材

5 セットタンク



※図は収納タイプの場合。

1 セットタンク

1

2

3

4

パッキン

ニップル

延長ホース
(別売品)

左立管で既存給水流用の場合

1 コアキャビネット

立管対応タイプを除く

※タイプにより、コアキャビネットの形状が異なります。

3 バインドタッピンねじ
φ4×8(2本)

1 ひっかける

4 水平確認

5 トラストタッピンねじ
φ4×40(4本)

2 すき間を左右均等

6 床に固定(左右2カ所)

端あわせ

当てる

トラストタッピンねじ
φ4×30(2本)

立管対応タイプの場合

※タイプにより、コアキャビネットの形状が異なります。

3 バインドタッピンねじ
φ4×8(2本)

1 ひっかける

4 トラストタッピンねじ
φ4×40(4本)

2 けがき線にあわせる

壁とのすき間なし

※隠ぺいタイプの場合は立管側の壁に押し当てる

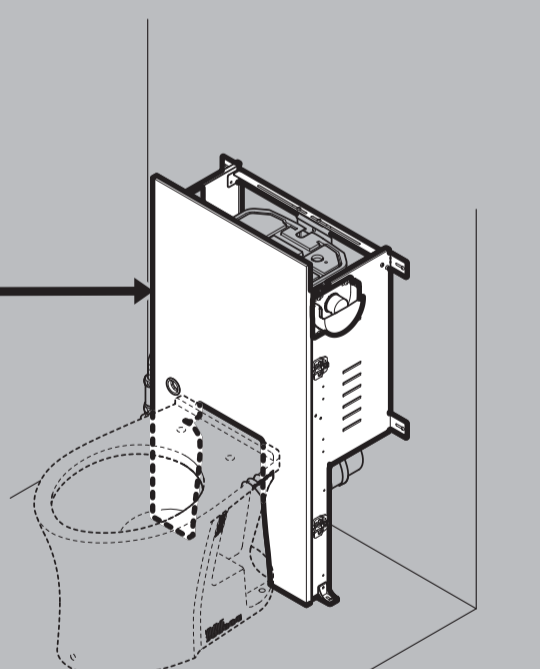
5 床に固定(1カ所)

当てる

端あわせ

トラストタッピンねじ
φ4×30(1本)

6 コアキャビネット



※図は収納タイプの場合。

2 洗浄レバー

1 皿ねじ
φ3×10(1本)

2 シール

3 トラス小ねじ
M4×10(4本)

4

5

6

7

	洗浄レバー 取付位置	洗浄ユニット ●印の向き
立管がない場合	右側	奥壁側
左立管の場合	右側	奥壁側
右立管の場合	左側	手前側

●印

●印を●印側に向ける

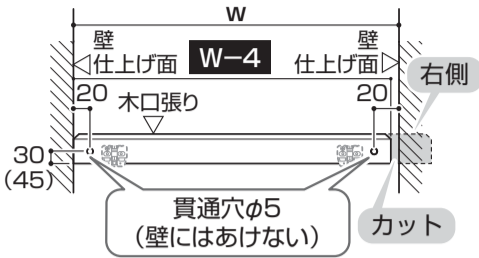
【洗浄レバーが左側】

【洗浄レバーが右側】

1 後横棧・壁側板

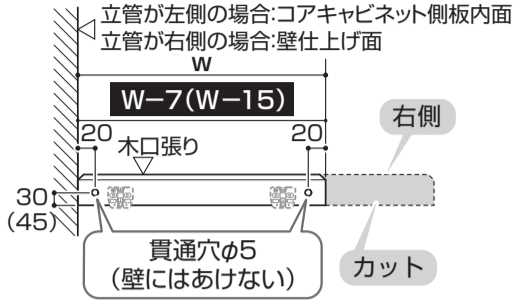
1 後横棧カット・穴あけ

立管無しの場合



※()は収納タイプの場合

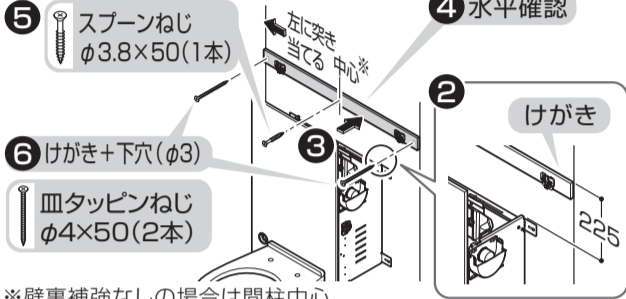
立管対応タイプの場合



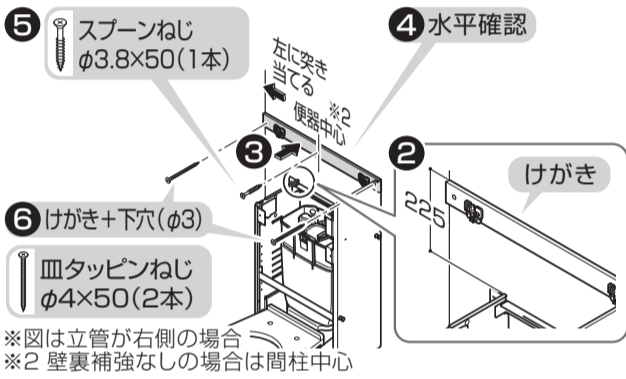
※()は収納タイプの場合

まるごと収納タイプの場合

【立管無しの場合】

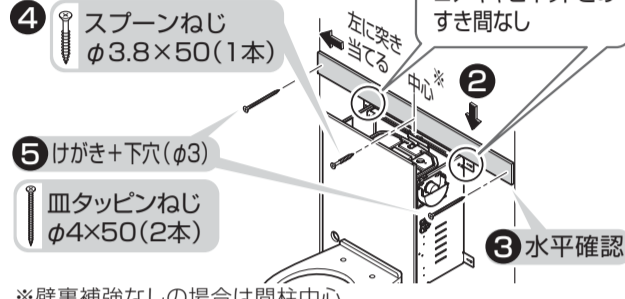


【立管対応タイプの場合】

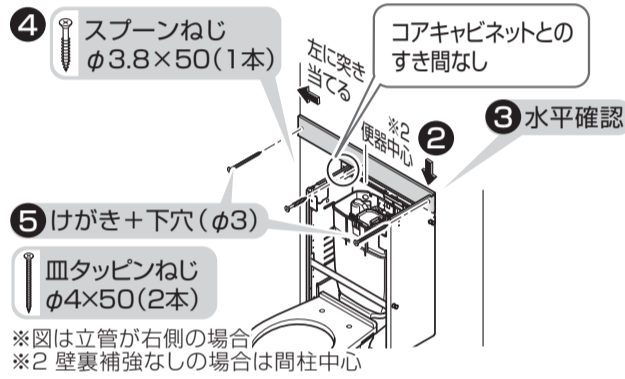


収納タイプの場合

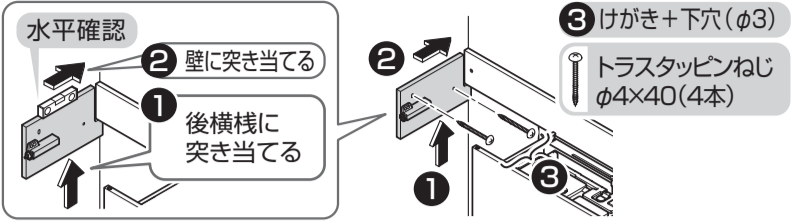
【立管無しの場合】



【立管対応タイプの場合】



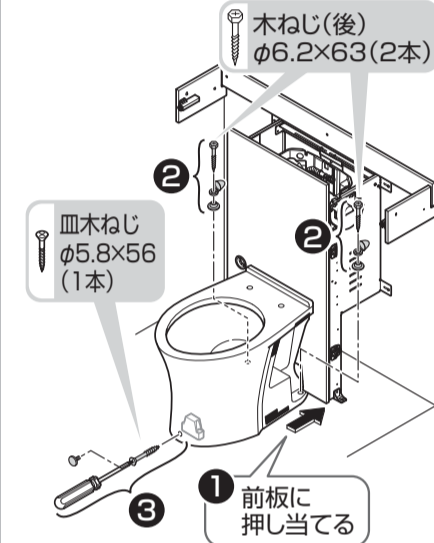
2 壁側板



立管対応タイプの場合



1 大便器



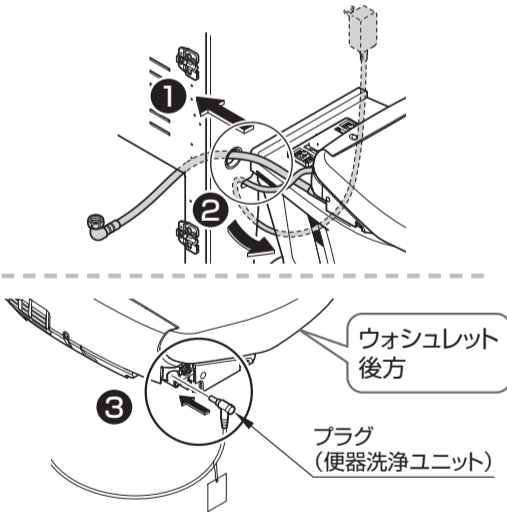
7 後横棧・壁側板



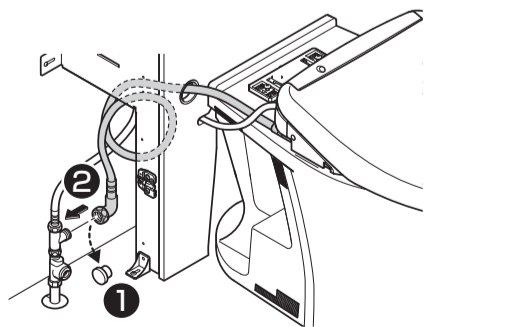
※図は収納タイプの場合。

1 ウォシュレットの設置

2 プラグ・ホースの差し込み



3 ホースの接続



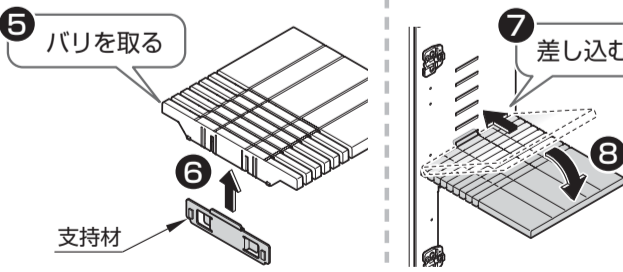
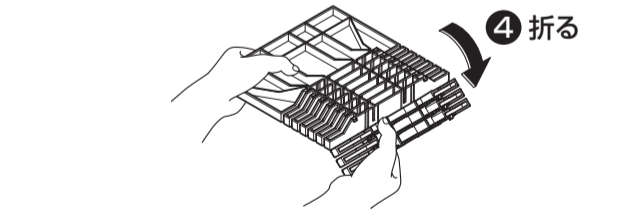
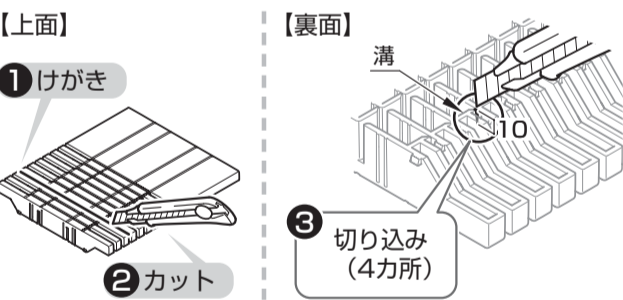
4 リモコンの設定・作動確認

▶ 本編 P.36

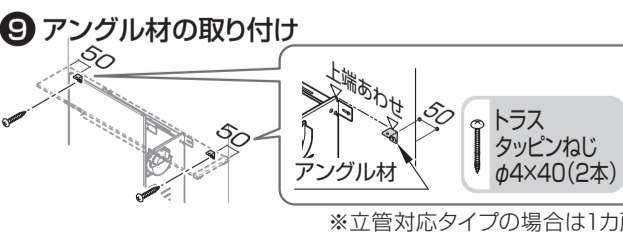
5 サイドカバー



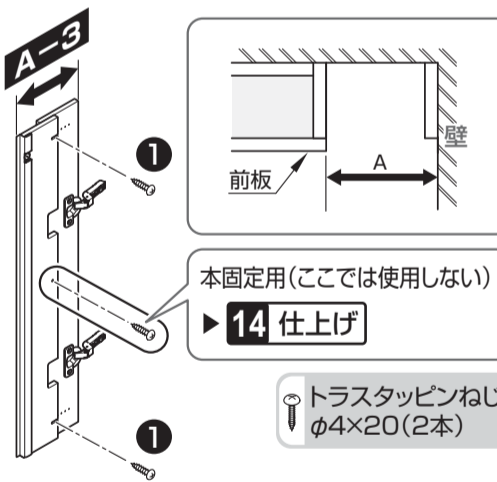
1 棚板・タンク上収納底板用アングル材 (まるごと収納タイプ)



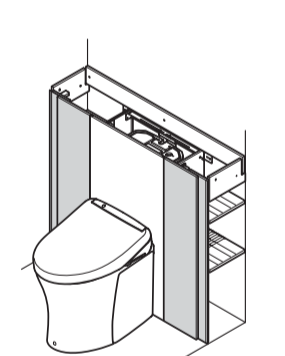
まるごと収納タイプ



1 扉

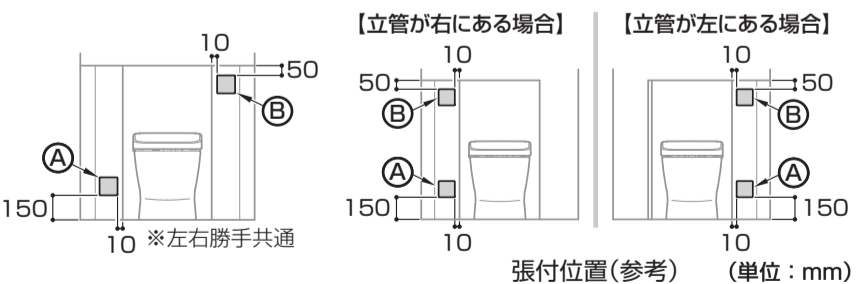


2 扉の取り付け



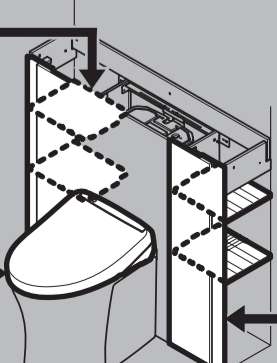
3 ラベルの張り付け

(A) 止水栓ラベル 止水栓がある側に張る (B) 便器洗浄ラベル



10 アングル材

9 ウォシュレット



※図は収納タイプの場合。

手洗器あり

1 天板

① トラス小ねじ $\phi 4 \times 20$ (4本)
回り止め金具 (2個)

【立管対応タイプの場合】

② 壁に突き当て

③ ①のねじを本固定

2 取り付け準備

① カバーを取り外す

② 排水受け皿
カバー

③

4

手洗い金具
パッキン
ナット

3 手洗器

①

② 面ファスナー

12 天板

※図は収納タイプ手洗器ありの場合。

手洗器なし/まるごと収納タイプ

1 加工

① W寸法測定
狭い方を基準にする [立管対応露出タイプの場合]

② 天板
皿タッピンねじ $\phi 3.5 \times 14$ (左右計4本)

③ 調整
【立管対応露出タイプの場合】
側板と天板の端は同一面とする

④ トラストタッピンねじ $\phi 4 \times 8$ (左右計4本)

3 ダンパー

トラス小ねじ $M4 \times 5$ (5本)

トラス小ねじ $M4 \times 5$ (1本)
軸に穴をはめ込み固定

③ ねじ長さ 5mm

4 タンク上収納底板

① W寸法測定
狭い方を基準にする [立管対応露出タイプの場合]

② カット
キャビネットの内側

※()の場合は立管対応の場合

③ トラストタッピンねじ $\phi 4 \times 10$ (5本)

④ カットした側

【立管対応タイプの場合】

⑤

手洗器なし/収納タイプ

1 加工

① W寸法測定
狭い方を基準にする [立管対応露出タイプの場合]

② 右側をカット

④ トラストタッピンねじ $\phi 4 \times 8$ (6本)

2 天板

仕上げ状態(目安)

【立管対応露出タイプの場合】
側板と天板の端は同一面とする

13 リモコン

1 取り付け

2 動作確認
▶ 本編 P.42

14 仕上げ

1 シリコン系シール剤
大便器

2 クッション

【手洗器あり】手洗器前面
【手洗器なし/収納タイプ】天板前面
【手洗器なし/まるごと収納タイプ】前板

当てることを確認

3 扉の本固定

トラストタッピンねじ $\phi 4 \times 20$ (1本)

4 引き出しラックの設置
大便器キャビネットの中に収納する

お引き渡し前に、本編裏表紙に従って、必ず点検してください。

MEMO